

殺虫剤

エトフェンプロックス乳剤

サンケイトレボン[®]乳剤

農林水産省登録 第 17169 号

性状：淡黄色澄明可乳化油状液体

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

消防法：第 4 類第 2 石油類

有効年限：4 年

包装：100 ml × 60、500 ml × 20

有効成分：エトフェンプロックス (PRTR・1 種) 20.0%

その他成分：有機溶剤・界面活性剤等 80.0%

(キシレン (PRTR・1 種) 77.3%)

トレボン[®]は三井化学アグロ(株)の登録商標です。

特長

- 広い範囲の害虫に有効です。
- きわめて速効的なノックダウン効果を示します。
- 人や動物に低毒性の殺虫剤です。さらに天敵としてのクモや鳥類への安全性が高いです。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール当りの使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農業の総使用回数
つつじ類	ツツジグンバイ	2000倍	100~700ℓ	-	6回以内	散布	6回以内
	ケムシ類 シャクトリムシ類	4000倍					
	オビカレハ	2000倍					
樹木類 (つつじ類、 ポインセチア ソテツを除く)	ケムシ類 シャクトリムシ類	4000倍					
	オビカレハ	2000倍					
	コナジラミ類	1000倍					
ポインセチア	ケムシ類 シャクトリムシ類	4000倍		-			
	オビカレハ	2000倍		幼虫発生期			
	ソテツ	2000 ~4000倍		-			
ソテツ	ケムシ類 シャクトリムシ類	4000倍		-			
	オビカレハ	2000倍	-				
	宿根かすみそう	シロイチモジヨトウ	1000倍	-			
りんどう	ヨトウムシ	2000倍	100~300ℓ	-			
	ヒラスハナアザミウマ						
きく カーネーション	アブラムシ類	-		発生初期			
ゆり							
トルコギキョウ	ハスモンヨトウ	1000倍					

使用上の注意事項

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
- 散布器具、作業衣等は薬用と必ず区別してください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しないでください。養蜂が行われている地区や受粉等を目的としてミツバチを放飼している地区で使用する場合は、関係機関(都道府県の畜産部局や病虫害防除所等)への連絡を徹底し、ミツバチ等の危害防止に努めてください。
- きくのアブラムシ類への使用にあたっては、一部地域のワタアブラムシでは効果が劣ることがあるので使用をさけてください。

- 本剤は自動車等の塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。特に適用作用群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分に確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔、うがいをしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 火気をさけ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。

水産動植物に関する注意事項

- 本剤は水産動植物(甲殻類、冷水魚)に影響を及ぼすので河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用してください。養殖池等周辺での使用はさけてください。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こすおそれがあるので、十分注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

散布区域内では、公園において散布する場合において

- ◆トリクロルホン及びイソキサチオンについては、散布後1日間、散布区域から葉から垂れる液剤が当たらない程度の距離において、立入を制限することが適当と考えられます。
フェニトロチオン、エトフェンプロックス及びグリホサートについては、散布終了後農薬が乾くまでの間は、散布区域から葉から垂れる液剤が当たらない程度の距離において、立入を制限することが適当と考えられます。
- ◆公園や街路樹の樹木、芝生等に対して散布する農薬については、使用上の注意事項として、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう配慮することがラベルに記載されている場合もあり、このような場合は、散布当日は立入を制限する必要があります。
- ◆散布区域外の立入制限範囲として、散布開始から散布終了後農薬が乾くまでの期間散布区域から次頁表に示す距離を設けることが適当と考えられます。